

意見募集結果概要

1 募集期間

6月13日（水）～6月27日（水）（15日間）

2 応募件数

33件

3 主な意見

(1) 対象者の特性に応じた指導及び支援の強化に関する意見

- ・ 刑事施設での再犯防止カリキュラムの拡充を図るべきである。
- ・ 個々の特性に応じた教育を行うための体制整備を図るべきである。
- ・ 地域における薬物依存症に対する医療体制の構築が必要である。

(2) 社会における「居場所」と「出番」の創出に関する意見

- ・ 刑務所内での就職活動及び就労支援・指導等の改善を図るべきである。
- ・ 就労先としてソーシャルファームの創設が必要である。
- ・ 満期釈放者に対する社会復帰支援を強化すべきである。
- ・ 被害者側に心を寄せた施策も行うべきである。
- ・ 政府が率先して刑務所出所者等の雇用に努めるべきである。

(3) 再犯の実態や対策の効果等を調査・分析し、更に効果的な対策の検討・実施に関する意見

- ・ 現在の刑務所における処遇についての分析と必要な見直しを優先して行うべきであり、その中で特に被害者の視点を取り入れた教育をより重視すべきである。

(4) 広く国民に理解され、支えられた社会復帰に関する意見

- ・ 保護司等の増員や処遇改善を行うべきである。
- ・ ボランティアやNPO法人等民間の協力者への支援を強化すべきである。
- ・ 再犯防止施策の立案・実施については日本弁護士連合会や弁護士の参画も求めるべきである。

(5) その他の意見

- ・ 厳罰化や出所後の監視による抑止力の強化が必要である。
- ・ GPS機能を利用した監視体制の構築が必要である。
- ・ 薬物事犯や性犯罪について刑罰を重くし、刑務所における更生教育の期間を確保することが必要である。
- ・ 初等教育の段階から「礼や道徳を重んじる教育」を充実させるほか、犯罪抑止等に関するカリキュラムを学校教育に取り入れるべきである。
- ・ 犯罪や非行を産み出す社会的問題を取り除く必要がある。